



# 平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 白銅株式会社

コード番号 7637 URL <http://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

定時株主総会開催予定日 平成26年6月27日

配当支払開始予定日

平成26年6月30日

有価証券報告書提出予定日 平成26年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	25,570	15.4	1,665	20.6	1,703	24.6	1,060	28.2
25年3月期	22,150	△7.1	1,380	0.4	1,366	△2.8	826	6.6

(注) 包括利益 26年3月期 1,172百万円 (22.1%) 25年3月期 960百万円 (20.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	82.56	—	7.8	7.6	6.5
25年3月期	64.41	—	6.4	6.6	6.2

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 ー百万円 25年3月期 ー百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	23,235	13,948	60.0	1,086.42
25年3月期	21,422	13,186	61.6	1,027.06

(参考) 自己資本 26年3月期 13,948百万円 25年3月期 13,186百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	1,271	△1,876	△410	4,517
25年3月期	1,329	△175	△320	5,509

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00	410	49.7	3.2
26年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00	423	40.0	3.1
27年3月期(予想)	—	0.00	—	34.00	34.00		39.7	

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	8.8	830	6.0	860	6.5	540	7.4	42.06
通期	27,000	5.6	1,720	3.3	1,770	3.9	1,100	3.8	85.67

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期	12,840,000 株	25年3月期	12,840,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期	716 株	25年3月期	716 株
③ 期中平均株式数	26年3月期	12,839,284 株	25年3月期	12,839,284 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	24,891	14.9	1,584	17.5	1,634	19.0	990	19.0
25年3月期	21,669	△7.7	1,348	△4.0	1,372	△5.4	832	1.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	77.17	—
25年3月期	64.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年3月期	23,121		13,951		60.3	1,086.65		
25年3月期	21,513		13,346		62.0	1,039.51		

(参考) 自己資本 26年3月期 13,951百万円 25年3月期 13,346百万円

2. 平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	13,000	9.2	830	6.3	500	5.1	38.94
通期	26,300	5.7	1,710	4.6	1,040	5.0	81.00

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 事業等のリスク .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 経営方針 .....	6
(1) 会社の経営の基本方針 .....	6
(2) 目標とする経営指標 .....	6
(3) 会社の対処すべき課題 .....	6
4. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

## ① 業績結果

## (a) 売上高

売上高は、前年同期比で15.4%増加し、255億7千万円となりました。

当連結会計年度における日本経済は、アベノミクス効果からの円高是正・株高により個人消費や輸出関連をはじめとする企業業績に明るさが出始めました。欧州諸国の財政問題や中国をはじめとした新興国の成長鈍化による景気の下振れ懸念があるものの、国内製造業の設備投資に回復する動きが見られるなど、国内経済は緩やかな回復傾向が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、販売価格の見直し・納期の厳格化・品質の向上を図ると同時に、インターネット経由で24時間365日お見積り可能な「白銅ネットサービス」の普及と注文機能の追加により、お客様の利便性の向上を図ってまいりました。

## (b) 営業利益

営業利益は、前年同期比で20.6%増加し、16億6千5百万円となりました。競争が激化する市場において、販売価格の見直し・サービスを向上したことにより、減益となるリスクはあったものの、売上高の増加、経費削減、中国の連結子会社である上海白銅精密材料有限公司の黒字化等により増益となりました。

## (c) 経常利益

経常利益は、前年同期比で24.6%増加し、17億3百万円となりました。営業利益の増益と為替差損を含む営業外費用の減少により増益となりました。

以上の結果、当期純利益は前年同期比で28.2%増加し、10億6千万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
日本	24,580百万円	1,570百万円	1,621百万円	977百万円
中国	990百万円	94百万円	82百万円	82百万円

## ② 当社を取り巻く環境

当社グループ業績に影響度の高い半導体製造装置業界および液晶製造装置業界、工作機械業界、事務機器業界、自動車関連業界では国内設備投資にも前向きな動きが出てきました。なかでも半導体業界は、自動車向けの電子機器類が好調に推移したこと、およびスマートフォン・タブレット型端末の世界的な需要拡大により、当第3四半期以降、設備投資に大幅な回復が見られました。

また、当社グループの売上高のなかで最も品種別売上高比率が高いアルミニウム圧延品の国内メーカーの生産量は、当第2四半期までは前年対比で減少しておりましたが、当第3四半期に入り増加に転じました。

原材料市況は、銅地金がトン当たり前連結会計年度末の76万円から当連結会計年度末は72万円に下落したものの、アルミ地金はトン当たり前連結会計年度末の24万円から当連結会計年度末は24万5千円に、ステンレス鋼板はトン当たり前連結会計年度末の27万5千円から当連結会計年度末は30万4千円と上昇しました。これら原材料市況は、当社グループの売上高および売上原価等に影響を及ぼすものであり、当連結会計年度においては、7千2百万円の増益要因となりました。

## ③ 次期の見通し

翌連結会計年度の日本経済の見通しにつきましては、企業業績の回復を背景に雇用・所得環境の改善が見込まれ、今後も緩やかな景気回復傾向が続くものと予想されますが、消費税増税による消費低迷や原材料価格の高騰などにより、下振れも懸念されております。

このようななか、当社グループは「3. 経営方針 (3) 会社の対処すべき課題」に記載しております経営課題に取り組むことで業績の向上に努めてまいります。

以上により、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高は270億円（前年同期比5.6%増）、営業利益は17億2千万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は17億7千万円（前年同期比3.9%増）、当期純利益は11億円（前年同期比3.8%増）を予想しております。

## (2) 財政状態に関する分析

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、232億3千5百万円と、対前連結会計年度末比で8.5%、18億1千3百万円増加しました。

流動資産は、175億5千8百万円と、対前連結会計年度末比で10.4%、16億5千7百万円増加しました。増加額は、現金及び預金2億8百万円、受取手形及び売掛金8億7千2百万円、商品及び製品4億9千6百万円他、合計16億9千3百万円です。減少額は、未収入金2千1百万円他、合計3千6百万円です。

固定資産は、56億7千7百万円と、対前連結会計年度末比で2.8%、1億5千6百万円増加しました。増加額は、有形固定資産1億9千2百万円です。減少額は、無形固定資産3千3百万円、投資その他の資産2百万円、合計3千6百万円です。

流動負債合計は、92億5千7百万円と、対前連結会計年度末比で13.2%、10億7千8百万円増加しました。増加額は、支払手形及び買掛金7億4千2百万円、未払費用1億3千4百万円、未払法人税等1億7千5百万円他、合計10億9千5百万円です。減少額は、未払金6百万円他、合計1千7百万円です。

純資産は、139億4千8百万円と、対前連結会計年度末比で5.8%、7億6千2百万円増加しました。増加額は、利益剰余金6億4千9百万円、子会社への出資金と子会社の累積損失を円換算した時の差異の為替換算調整勘定8千7百万円、その他有価証券評価差額金2千5百万円、合計7億6千2百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の61.6%から60.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ、9億9千1百万円減少し、45億1千7百万円となりました。

その内訳は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローによって資金は、12億7千1百万円となりました。

これは、税金等調整前当期純利益17億3百万円、減価償却費4億6千1百万円とたな卸資産の増加4億7千1百万円、法人税等の支払額により4億6千4百万円支出したことなどによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローによって資金は、△18億7千6百万円となりました。

これは、3ヶ月満期を超える定期預金の預入れにより12億円、有形固定資産の取得により5億9千6百万円支出したことなどによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローによって資金は、△4億1千万円となりました。

これは、配当金の支払で4億1千万円支出したことによるものです。

## 当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
自己資本比率（%）	55.5	57.7	62.3	61.6	60.0
時価ベースの自己資本比率（%）	50.8	53.3	49.0	49.7	51.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	97.0	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	62.0	664.6	1,088.7	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりますが、平成23年3月31日以降、利子を支払っている負債がないので平成23年3月期以降の記載が「－」になっております。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針としております。

この基本方針に基づき平成26年5月12日開催の定例取締役会において、平成26年3月期配当金として1株につき普通配当33円とすることを決定いたしました。

なお、次期配当につきましては、基本方針に則り経営成績の向上を目指し、平成27年3月期の配当予想を達成すべく役員・従業員が一丸となって努力する所存であります。

(4) 事業等のリスク

事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下があります。

なお、文中における将来に関する事項は、当連結会計年度末（平成26年3月31日）現在において判断したものであります。

① 販売方法別のリスクについて

当社グループは、アルミニウム・伸銅・ステンレス・特殊鋼等の金属製品やプラスチック製品の加工および販売を次の二つの販売方法で行っております。

一つは標準在庫品販売で、自社工場に常時約4,100品目サイズの商品を在庫し、それを流通業者およびユーザーからの注文に応じて、加工して販売する方法です。この販売方法のリスクには、自社工場に大量の在庫を抱えることや国内の景気動向の影響を受けやすいことが挙げられます。

もう一つは特注品販売で、特定の大口ユーザー向けのオリジナル規格の商品を、自社工場を介さずにメーカーから直接大口ユーザーに納品して販売する方法です。この販売方法のリスクには、特定大口ユーザーの生産動向に影響されることが挙げられます。

② 特定業界への売上高依存度について

当社グループは、アルミニウムやステンレスの厚板を多方面の業界に販売しております。なかでも半導体製造装置業界および液晶製造装置業界向けの売上比率が高く、同業界は、いわゆる「シリコンサイクル」や「クリスタルサイクル」に大きく影響されるため、その周期によって当社グループの業績に影響を及ぼすことが挙げられます。

③ 非鉄金属市況による影響について

当社グループの主要販売商品であるアルミニウム、伸銅等の非鉄金属の価格は、国際市況によって変動しております。国際市況が大きく変動した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼすことが挙げられます。

④ 当社の基幹施設の故障等による影響について

自然災害および機械故障による当社工場の操業不能、情報システムの処理不能、電話・ファクシミリ等の通信不能は当社グループの業績に影響を及ぼすことが挙げられます。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（白銅株式会社）および連結子会社の上海白銅精密材料有限公司によって構成されており、金属製品およびプラスチック製品の加工ならびに販売を主たる業務としております。

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループの経営理念は『私たちは、関係する全ての人に信頼されるとともに、モノづくりに関わる人々へ商品・便利・安心の提供を通じて、社会に貢献します』としています。その実現のために、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を築き、従業員一人一人のチャレンジ精神を原動力として、社会の発展に今後も貢献し続けます。

#### (2) 目標とする経営指標

当社は、具体的な経営指標の数値目標を定めておりません。  
売上高および経常利益の長期的な成長を目指してまいります。

#### (3) 会社の対処すべき課題

- ◆ 顧客満足度の向上と競合との差別化によるシェアと利益率の向上
- ◆ 海外事業の強化

以上の課題を解決するため、次のとおり対処いたします。

##### ① 顧客満足度の向上と競合との差別化によるシェアと利益率の向上

製造工程および設備機械等の見直しにより業界トップの品質、業界トップの納期を目指し、お客様センターの対応品質の向上、経費の削減等により納得の価格を実現することで顧客満足度の向上を図ってまいります。また、航空機シリーズやエコシリーズ、ハイスpekシリーズなどの差別化商品をはじめ標準在庫品の品揃えを充実させるとともに、カタログ規格にない商品の販売、きめ細かい加工の対応、24時間365日お見積り・注文可能な「白銅ネットサービス」の普及により、競合との差別化を図り、シェアと利益率の向上を図ってまいります。

##### ② 海外事業の強化

中国の連結子会社である上海白銅精密材料有限公司は、加工商品の品質向上と上海からの遠方地域（西南地域や華北地域など）への販売網の拡大を図るとともに、より一層の経費削減を実施することを計画しています。

また、タイ王国に平成25年4月にタイ駐在員事務所を開設し、タイ国内での市場調査を実施してまいりました。市場調査の結果、タイの現地法人が必要と考え、平成26年10月に現地法人を開設いたします。現地法人を開設することで、現地通貨での取引および現地での在庫が可能となり、より一層の販売強化を図ってまいります。現地法人開設後に駐在員事務所は閉鎖いたします。



## 4. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,509,335	5,717,426
受取手形及び売掛金	7,167,083	8,039,431
商品及び製品	3,115,497	3,611,561
原材料及び貯蔵品	16,130	14,512
繰延税金資産	44,624	71,101
その他	70,367	127,764
貸倒引当金	△21,728	△23,412
流動資産合計	15,901,310	17,558,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,682,397	6,703,644
減価償却累計額	△4,767,541	△4,929,288
建物及び構築物（純額）	1,914,855	1,774,355
機械装置及び運搬具	2,814,270	3,290,629
減価償却累計額	△1,892,727	△2,102,188
機械装置及び運搬具（純額）	921,543	1,188,441
土地	1,856,833	1,898,910
その他	332,266	325,919
減価償却累計額	△302,559	△272,103
その他（純額）	29,707	53,816
有形固定資産合計	4,722,938	4,915,523
無形固定資産	225,496	192,093
投資その他の資産		
投資有価証券	371,875	403,562
繰延税金資産	16,298	2,965
その他	184,510	163,161
投資その他の資産合計	572,683	569,689
固定資産合計	5,521,119	5,677,306
資産合計	21,422,430	23,235,690

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,471,225	8,213,920
未払費用	371,351	505,360
未払法人税等	209,350	422,319
役員賞与引当金	21,000	17,000
その他	105,872	98,875
流動負債合計	8,178,799	9,257,476
固定負債		
長期預り保証金	12,950	12,350
その他	43,922	16,965
固定負債合計	56,872	29,315
負債合計	8,235,672	9,286,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	11,424,535	12,073,731
自己株式	△818	△818
株主資本合計	13,045,115	13,694,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,767	107,990
為替換算調整勘定	58,875	146,598
その他の包括利益累計額合計	141,642	254,588
純資産合計	13,186,757	13,948,899
負債純資産合計	21,422,430	23,235,690

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	22,150,997	25,570,693
売上原価	17,925,373	20,890,799
売上総利益	4,225,623	4,679,893
販売費及び一般管理費	2,845,197	3,014,652
営業利益	1,380,426	1,665,241
営業外収益		
受取利息	3,050	5,175
受取配当金	7,588	8,043
不動産賃貸料	61,200	67,322
その他	5,457	6,670
営業外収益合計	77,296	87,211
営業外費用		
不動産賃貸費用	23,036	18,845
支払手数料	1,949	1,798
為替差損	40,501	15,989
固定資産除却損	8,887	5,382
解約違約金	13,573	-
その他	3,281	7,181
営業外費用合計	91,230	49,198
経常利益	1,366,491	1,703,255
特別利益		
投資有価証券売却益	11,658	-
特別利益合計	11,658	-
特別損失		
投資有価証券評価損	7,916	-
その他	60	-
特別損失合計	7,976	-
税金等調整前当期純利益	1,370,173	1,703,255
法人税、住民税及び事業税	537,599	665,797
法人税等調整額	5,619	△22,594
法人税等合計	543,218	643,202
少数株主損益調整前当期純利益	826,954	1,060,052
当期純利益	826,954	1,060,052

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	826,954	1,060,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,690	25,222
為替換算調整勘定	104,937	87,723
その他の包括利益合計	133,627	112,946
包括利益	960,582	1,172,998
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	960,582	1,172,998
少数株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	10,918,563	△818	12,539,142
当期変動額					
剰余金の配当			△320,982		△320,982
当期純利益			826,954		826,954
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	505,972	－	505,972
当期末残高	1,000,000	621,397	11,424,535	△818	13,045,115

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	54,077	△46,062	8,015	12,547,157
当期変動額				
剰余金の配当				△320,982
当期純利益				826,954
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	28,690	104,937	133,627	133,627
当期変動額合計	28,690	104,937	133,627	639,600
当期末残高	82,767	58,875	141,642	13,186,757

当連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	11,424,535	△818	13,045,115
当期変動額					
剰余金の配当			△410,857		△410,857
当期純利益			1,060,052		1,060,052
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	649,195	—	649,195
当期末残高	1,000,000	621,397	12,073,731	△818	13,694,310

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	82,767	58,875	141,642	13,186,757
当期変動額				
剰余金の配当				△410,857
当期純利益				1,060,052
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	25,222	87,723	112,946	112,946
当期変動額合計	25,222	87,723	112,946	762,141
当期末残高	107,990	146,598	254,588	13,948,899

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,370,173	1,703,255
減価償却費	456,498	461,523
貸倒引当金の増減額（△は減少）	12,043	221
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△18,000	△4,000
受取利息及び受取配当金	△10,639	△13,218
投資有価証券評価損益（△は益）	7,916	-
投資有価証券売却損益（△は益）	△11,658	-
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,483	2,365
固定資産除却損	8,887	5,382
売上債権の増減額（△は増加）	△270,993	△846,514
たな卸資産の増減額（△は増加）	△315,967	△471,162
仕入債務の増減額（△は減少）	678,923	735,165
その他	13,183	149,138
小計	1,917,884	1,722,156
利息及び配当金の受取額	10,639	13,218
法人税等の支払額	△599,484	△464,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329,038	1,271,325
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額（△は増加）	-	△1,200,000
有形固定資産の取得による支出	△232,168	△596,838
有形固定資産の売却による収入	3,380	1,099
無形固定資産の取得による支出	△38,707	△9,623
投資有価証券の取得による支出	△6,885	△1,126
投資有価証券の売却による収入	60,093	5,482
その他の支出	△40,309	△92,691
その他の収入	78,773	17,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,824	△1,876,235
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△320,904	△410,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,904	△410,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,775	23,810
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	857,085	△991,909
現金及び現金同等物の期首残高	4,652,250	5,509,335
現金及び現金同等物の期末残高	5,509,335	4,517,426

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度より、「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を適用しております（ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。）。

当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響はございません。

## (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
現金及び預金勘定	5,509,335千円	5,717,426千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	△1,200,000
現金及び現金同等物	5,509,335	4,517,426



(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、金属事業の単一事業であり、国内においては当社が、中国においては上海白銅精密材料有限公司が、担当しております。両会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」及び「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	21,327,562	823,434	22,150,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	341,870	—	341,870
計	21,669,432	823,434	22,492,867
セグメント利益又は損失(△)	832,777	△6,516	826,260
セグメント資産	21,513,970	892,737	22,406,707
セグメント負債	8,167,348	108,162	8,275,510
その他の項目			
減価償却費	424,329	27,041	451,370
税金費用(法人税等及び法人税等調整額)	543,890	—	543,890
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	292,319	3,160	295,479

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	24,580,181	990,511	25,570,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	311,363	—	311,363
計	24,891,545	990,511	25,882,057
セグメント利益又は損失(△)	990,785	82,061	1,072,846
セグメント資産	23,121,170	1,087,176	24,208,346
セグメント負債	9,169,398	132,815	9,302,213
その他の項目			
減価償却費	432,263	29,260	461,523
税金費用(法人税等及び法人税等調整額)	643,278	—	643,278
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	576,993	22,688	599,681

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22,492,867	25,882,057
セグメント間取引消去	△341,870	△311,363
連結損益計算書の売上高	22,150,997	25,570,693

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	826,260	1,072,846
セグメント間取引消去	694	△12,794
連結損益計算書の当期純利益	826,954	1,060,052

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22,406,707	24,208,346
セグメント間取引消去	△984,277	△972,655
連結貸借対照表の資産合計	21,422,430	23,235,690

(単位：千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,275,510	9,302,213
セグメント間取引消去	△39,838	△15,422
連結貸借対照表の負債合計	8,235,672	9,286,791

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
税金費用	543,890	643,278	△672	△75	543,218	643,202

b. 関連情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
1株当たり純資産額	1,027.06円	1,086.42円
1株当たり当期純利益額	64.41円	82.56円

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（注） 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
当期純利益（千円）	826,954	1,060,052
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	826,954	1,060,052
期中平均株式数（株）	12,839,284	12,839,284

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。